

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高須 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

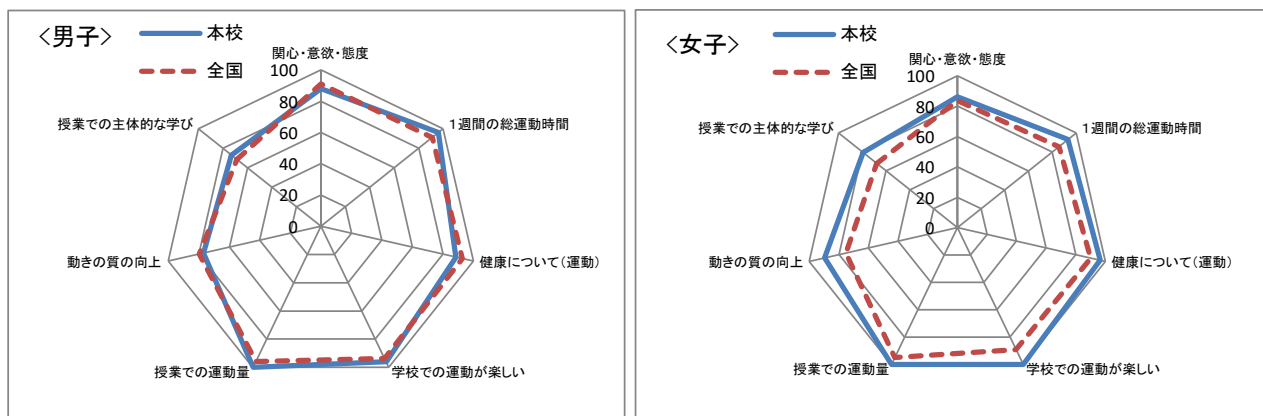
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

◇全国平均値と比べて、男子は同程度、女子は全ての項目で上回っている。男女ともに、1週間の総運動量や体育の授業の充実等で特に得点が高い。相対的に、授業での主体的な学びにおいてはさらなる向上の余地がある。児童が自分なりの目標を立て、課題を解決していく体育科学学習を目指し、授業改善を行う。
 ◇朝食を毎日食べる児童の割合が、男女ともに全国平均よりも低い。食育の取組の充実が求められる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

◇タブレット端末の活用、体育ノート(学習カード)の活用、場の工夫、学び合いの推進等を通して、児童がより主体的に学ぶことができるように授業改善を図っていく。
 ◇食育を推進し、よりよい食習慣・生活習慣を一人一人に身に付けさせていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

◇冬期にランランタイム(5分間走)に取り組む。一人一人に自分に適した目標を設定させ、目標達成に向けた主体的な取組となるようにする。家庭にも情報提供を行い、家庭での運動習慣の涵養にもつなげていく。
 ◇新体カテストに向けた取組を充実させるとともに、結果を運動の日常化へとつなげていく。